

第 1 学年 道徳科（人権）学習指導案

- 1 主題 みんな すてきなともだち
- 2 主題設定の理由（省略）
- 3 ねらい
一人一人の違いやよさを認め伝え合うことで、友達を大切にしようとする態度を育てる。
- 4 指導計画
 - (1) これまでの学習
 - ・学級活動「かみさまからのおくりもの」（こぐま社）・・・・・・・・ 1 時間
 - ・道徳科「ぼくにもあるかな」（光文書院）・・・・・・・・ 1 時間
 - ・学級活動「キラッとさん」をみつけよう ・・・・・・・・ 1 時間
 - (2) 現在の学習
 - ・道徳科「くれよんのくろくん」（童心社）・・・・・・・・ 1 時間（本時）
 - (3) これからの学習
 - ・道徳科「おにいちゃんありがとう」（光文書院）・・・・・・・・ 1 時間
 - ・生活科「あきのおもちゃをつくってあそぼう」 ・・・・・・・・ 10 時間
- 5 本時の学習
 - (1) 目標
一人一人違ったよさがあることに気付き、互いに認め合って仲よくしていこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	B－(9) 友情、信頼
-------------	-------------

- (2) 普遍的な学習のテーマ 仲間づくり
- (3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習課題をつかむ。 みんなが にこにこになったのは どうしてだろう。	○ 好きな色とその理由を発表させ、学習への意欲を高める。
2 教材の前半を読み、のけ者にされたくろくんの気持ちを考える。 3 教材の後半を読み、花火の絵が完成した時の、みんなの気持ちを考える。	○ のけ者にされたくろくんの気持ちに共感させる。 ○ クレヨンの仲間たちが気が付いたことを考え、くろくんへ言葉で伝えさせる。 評価【発表・態度】② ○ 誰にもよさがあり、それぞれのよさを生かし互いに認め合うことで、豊かな関係がつけられ幸せになることに気付かせる。
4 自分の生活を振り返り、まとめをする。	○ 自分や友達のよいところを考え、よさを認め合って仲よくしていこうとする意欲を高める。 評価【発表】①

- (4) 評価
 - ・友達のよさに気付き、よさを認め合って仲よくしていこうとする意欲が高まったか。

【価値的・態度的側面】①
 - ・自分の思いを表現したり、友達の考えを聞いたりすることができたか。

【技能的側面】②